

かわら版

(夏号 NO 7) 2014/07/01 発行

年二回発行(1・7月)

下関市立大学落語研究会 OB 会発行

電子版の扱いですので購読のためにはメールアドレスが必要となります。

編集長 西川 隆喜

※大学同窓会 HP でもご覧になれます。

行く春を惜しみ語らふ友がらの

細き縁(よすが)を白髪(しらが)にぞ知る (NO 6, 257)

〈直訳〉 散り際の満開の桜の花のように時を惜しみ歓談にふける友人たちの白髪にそれぞれの人生を感じるものであることよ。



福山駅より臨むお城の満開の桜



鞆の浦の常夜灯前での記念撮影

【暑中お見舞い申し上げます!!】

市大落研 OB・OG の皆様お元気ですか? 心より暑中お見舞い申し上げます!

4月に開催されました第2回落研 OB 会「2014 市大落研 OB・OG 会 IN 鞆の浦」につきましては、既に「速報版」として同窓会 HP 上に掲載いたしました。今回発行されます「かわら版」の紙面を借り私(大塚)より参加者についての感想やら顛末も踏まえ少し詳しくお伝えさせていただきます。

早いもので「かわら版」も平成 23 年 7 月創刊より丸 3 年間が経過し、今回は「夏号 NO

7] です。この間に、落研 1 期生 (S49 卒) をはじめとする創部期の OB・OG 連中は次々と還暦を迎えたか、還暦手前の年齢となりました。心も体もまだまだ大丈夫とっていますが、一昨年の楽狂に続いて昨年は笑司が大変な病魔に突然襲われ他人事ではないとの思いも強くなり、健康のためには何でもポジティブにと考えるようになりました。治療の甲斐あって二人とも元気を取り戻したため、また落研 OB・OG 連中とワイワイやりたいとの思いがむくむくと……。運良く笑仲が昨年 12 月に仕事で上京し、都内在住の好志と三人でミニ OB 会を開催した折に第 2 回 OB 会を広島・福山で開催したいと持ち掛けたところ両名とも大賛成。大阪の朗志を巻き込んで今回の開催に至りました。

さて、今回の鞆の浦 OB 会のサブタイトルに「最後の晚餐」と朗志が名付けてきました。かわら版の大編集長でもある朗志が直前の「新春号 NO 6」の冒頭見出しに「鞆に行き祝杯をあげるその日まで命つなげよ我が友がらよ」と詠んでいましたが、これが名付けの伏線でした。「鞆に」と「共に」を掛けて、鞆の浦 OB 会での再会まで元気でいてくださいとのメッセージです。オブラートに包むよりこれも落研のらしさかなと思いつまにしましたが、みんな心が広いというか、何というか……「最後の晚餐」を受け入れてくれました。

それでは前置きはこれぐらいにしまして、まずは鞆の浦 OB 会の参加メンバーを紹介させていただきます。

今回の会場となった鞆の浦がある広島・福山市で不動産鑑定士業と農業を営む①春好亭楽狂 (S49 卒・細井資伸) は、いつもの通り落語好きで市大落研に入り浸り芸名を与えられそのまま夫婦となった梅短 OG の②花見亭さくら (細井京子) とともに。

下関の奥座敷・黒井村で米作りとミカン作りにいそしむ③あばら家笑和 (S49 卒・尼子和男) は、市大落研とともに「北九州落語長屋」のお世話をしていた門司看護学校の落研 OG で仲が良すぎて夫婦となった④香月 (尼子恵) を連れて自慢の自家米を持参。

病魔退治の投薬治療で無くなった毛が元に戻って喜んでいる⑤あばら家笑司 (S49 卒・沖井孝志) は下関から。もともと毛が無ければ生えないから良かったね。「落研 OB の皆さんも明日があるとは思わずご自愛くださいませ。」ときついメッセージを寄せたしっかり者の奥様・恵子さんと看護師の娘さんに大変感謝しているようです。

落研メンバーの雀荘となっていた市大校門前近くにあった学生用アパート「竹内マンション」の住人⑥有田格さん (S49 卒) は宮崎市から。学生時代からは想像のつかない激太り！自分がコントロール出来ないのに、九州の焼酎メーカーで社員のメンタル面をケアするカウンセラー業務に取り組んでいるそうだが、大丈夫かな？

写真部 OB ながらいつの間にか落研専属カメラマンになった⑦間島健一さん (S49 卒) は千葉・松戸市から。外資系コピー機メーカーを早期退職し今は趣味の写真三昧の日々を過ごしている。高松高校同級生と一緒に讃岐うどんをこねるほどの仲であった三菱 UFJ 信託銀行元社長が亡くなり、人生は楽しむものとの思いが更に強固に。

S49 卒落研メンバーのマーじゃん仲間で所在不明だった⑧本多和人さん（下関商業出身）が岡山市で見つかり特別参加。姓が「筒井」に変わり逆玉の輿か？40年前と顔が一緒だった。

広島市出身で鞆の浦 OB 会翌日に真っ赤なユニフォーム姿でマツダスタジアムへ向かったカーブの熱狂的ファン⑨花見亭笑仲（S51 卒・森長武）は明石市から。孫にメロメロの口達者な塾経営者で、他人の子供は宝の山に見えるらしい。しかし、太っ腹な面もあり昨年12月の東京・目黒でのミニ OB 会をご馳走してくれた。しかし、おごってやったと一生言われるだろう。

由布院出身で田舎くさい⑩春好亭晋平（S51 卒・松尾晋）は福岡・春日市から。パソコンやモバイルのアドレスを持っていない前近代的なおっさんで、しばらく音信不通だったが数年前にようやく連絡がついた。学生時代の体格、顔、声そのままに年を取ったと思って結構。芸名を途中で関亭笑蔵に変更したため、現在の落研部室に掲げてある歴代 OB の蒲鉾板製の芸名札が無く仲間はずれ。

東京・練馬区から来た⑪あばら家好志（S52 卒・青山剛三）は、数年前までの奥さんの実家（小倉）でのフク田マスオさん状態から脱し、今は横浜のこども宇宙科学館という立派な施設のプラネタリウムで親子相手に夢を売っている。理路整然とした切れ者で真面目そうだが、ぶち融通が利く。前職の旅行会社で培われたおもてなしの心で上から下までよく面倒を見てくれる。三重県伊勢出身で朗志との関西コンビは絶妙。

大阪・堺市からは⑫あばら家朗志（S52 卒・西川隆喜）が参加。銀行を早期退職し笑和と同じく家業の農業に励む、優秀な兄弟の中で唯一の落ちこぼれらしいが、口では負けていないと思う。大阪弁丸出しのバリバリの関西人だが、福岡教育大学 OB や管弦楽団の学生さんの協力を得て福岡筑後地域の小学校に「オーケストラ演奏」を届ける奉仕活動を4年間続けている。地方では親子三世代が同じ学校 OB は珍しくなく、「校歌」を演奏すると世代を超えた地域の輪ができるとの信念があるようです。

人の好きが顔にそのまま出ている⑬春好亭遊狂（S52 卒・竹久泰三）は岡山・勝田郡勝央町から宴会だけのために駆け付けて来た。とにかく純真無垢てな感じですが、しっかり子供はつくっています。学校勤めであまり変化がないのか、自分のことより出世している優秀な妹さんの話題で盛り上がり。

奈良市から来た⑭花見亭呂九笑（S53 卒・幸本秀哉）は相変わらず先輩の使いばしりの小間使い役、聞き役ばかりで申し訳ない。先輩連中のあほ面や行動を見て安心したことでしょう。スーパー一定年後に子会社で「廃棄物管理士」としてもう一踏ん張りしているようですが、愛犬にそっぽをむかれ奥さんとは亭主元気で留守が良い状態で可哀想。

市大落研 OG 第一号の天然記念物⑮花見亭たゆう（S53 卒・千葉里美）は長府から。下関南校出身で将来が期待されていたと思うが、自ら望んで入った落研が人生の行路を狂わせたか？一流企業のキャリアウーマンになれず。しかし、ちゃんと結婚し子供をつくって、今では女を捨てろと言われしごかれた笑仲と同じ塾経営者になっている。

さくらの友達で梅短 OG の⑩畑間千恵美さんも特別参加。場違いなところに迷い込んでしまったと思いますがご勘弁を・・・。

最後に私、今回の鞆の浦 OB 会の言い出しっぺ⑪春好亭金艶 (S49 卒・大塚秋夫) は千葉・柏市より。前回の川棚 OB 会に続き好志&朗志の S52 卒コンビに全て仕切ってもらい非常に感謝 (気持ちだけ) しております。

以上、参加者は 17 名でした。



宴会場での記念写真。チャッカリ筒井さんが前列、おとめの列を GET!

前列左より 細井・筒井・千葉・畑間・尼子 中列左より 細井・松尾・青山・西川
後列 森長・有田・幸本・大塚・尼子・竹久

それでは、これより「鞆の浦 OB 会」の様子に入ります。

4月5日(土)午後、福山駅で新幹線組と合流し、3世代テーマパーク「みろくの里」へ移動し自家用車組と合流。「みろくの里」は昭和30年代の懐かしい街並みが再現された空間で、木造校舎の小学校の教室では楽狂先生による無邪気な授業風景を再現するなど楽しい一時を過ごしました。遊戯のアトラクションゾーンではスーパーバイキングなど小便をちびそうなものがありましたが誰一人として乗らず。

その後、鞆の浦の渡船場より「平成いろは丸」にて日本の国立公園第1号・瀬戸内海国立公園の中心にある景勝地・仙酔島へ。下船後徒歩数分で国民宿舎「仙酔島」にチェックイン。部屋に入るとちょっと待て!部屋にテレビが無い!尻洗い機がないトイレじゃ!隣の部屋の話声がぼそぼそ聞こえるぞ!部屋は諦め、早速3年振りの裸の付き合いへ直行。醜い体型をお互いに慰め合う。

宴会では有田さんと笑仲が持参した銘酒(焼酎&日本酒)を有難く頂戴し、参加者全員が持ち寄った自慢の品の抽選会ではワイワイガヤガヤと横やりが入りまくり、主役がいつの間にか交代するといういつもの光景でした。



有田さんの自己紹介ですが、ボケの松尾、突っ込みの森長兩人が邪魔をするのでなかなか進みません。右端の竹久さんのあきれ顔は何とも味がありました。



チームリーダーの青山さんはしばし休息。とにかく掛け込まないと次の企画が待っていますよ!!



大抽選会で盛り上がりすぎ、ついに本日はSP「踊り子3人娘」の出番なし。欲求不満気味で飲みまくる森長さん。「暴れ出したらどないしよう? おいらは宴会終了後、津山まで帰るんぞなもつし・・・」と考え込む竹久さん。



一夜が明け、朝食タイムからオオボケを連発する松尾さん。病み上がりの沖井先輩もほとんど諦め状態だ!! 次回 OB 会の博多開催はほんまに任せておけるのかな?



ポーカーフェイスの間島(右)さん。学生時代から声を荒げていたことは見たことがなかった。いたずら気分で一度意識的に怒らせてみたいなあ!同じく学生時代からの涉外パートナーの幸本さん。兩人とも実に紳士的であった。



落研 OB 会が誇る「熟女三人娘」で左から歳をますほど色気が出ている千葉さん。太極拳で健康管理に余念のない尼子さん。スレンダー好みには絶大な人気のある畑間さん。次回の参加よろしく願いしておきます。

翌日 4 月 6 日 (日) は鞆の浦界隈を散策。紀州藩・明光丸との衝突で鞆沖合に沈没した坂本龍馬ゆかりの海援隊の船・いろは丸の残骸などが展示されている「いろは丸展示館」を訪ね、「とうろどう」(常夜燈) 前にての記念撮影などで明治維新を体感。また、多くの宗派の寺社があり、密語(ささやき)の橋と言われる 2~3 歩で渡れる日本一小さなひとまたぎ橋「ささやき橋」を巡るなど鞆の浦には歴史的な史跡・町屋が数多く残っており、のんびりとした良い雰囲気の良い町でした。

以上、だらだらと少々長くなりましたがご勘弁を! とにかくアホをやっていた 40 年前の再現フィルムでしたが、メンバーがメンバーですからその他に何が合ったかは皆さん勝手に想像を膨らましてください。それでは今回はこれにてお開きといたします。次回は博多でやると晋平が公言していましたので、それまで皆様お元気で!

春好亭 金艶 (S49 卒・大塚秋夫)

【OB・OG会の開催日に仕事で参加できなくなった小楽狂から届けられた詫び状全文】

詫 び 状

桜花爛漫の候、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。
会社より禄を頂いております関係上辞表を出してまで出席する力量が無く誠に申し訳ございません。ここに深くお詫び申し上げます。

【土曜日は終日会議、日曜日は事故撲滅決起大会と2日共つぶれてしまいすいません。】
私の地元での開催ということでは是非とも参加させていただきたく思っておりましたが、残念無念。

楽狂師庄・さくらおねえさまお二人にはご連絡しておりましたが、私ごとで前回お便りしましたおりに、辺境の地沖縄に防人としてお国に命を捧げる気持ちでおりますが、自衛隊の増強・嘉手納基地のオスプレイ配置と私が抜けてもなんとか国防に問題なしと判断し昨年やっと本土に戻ってまいりました。

現在兵庫県加古川市において就業しておりますので御用命がございましたらご一報ください

つきなみではございますが、会の今後のご発展と皆様のご健康とご活躍を明石海峡の渦潮を見守りながらお祈り申し上げます。

春好亭 小楽狂 (S54 卒・松田忠義)

【落研 OB・OG のみならず人生を思い悩んでいる市大関係者に捧げます】

編集長から「落研と関係深い人達から見・感じた落研」について、あるいは社会人になって考え・思い悩んだこと、なんでも結構ですので「寄稿」いただければという声掛けがありましたので私の経験してきたことの一部を投稿することにしました。

トトロの履歴書

- 目次
1. 学生時代～落研との関わり
 2. 何事にも動じない心
 3. プロジェクト X 地方版
 4. 困ったときの神頼み
 5. 仕事と遊びは振り子の関係
 6. 肚をくくる
 7. テーマソングは人生劇場

1. 学生時代～落研との関わり

落研創設者の一人、楽狂師匠とは下関市大に入学してから4年間同じ高級マンション住まいだったことから落研との関わりができ、門司看へ行ったり、女子短の大学祭へ行ったり、知人の女性に会いに金沢へ野宿旅行したり、毎日パチンコで生活費を稼いだり、徹夜で麻

雀したりしていました。また、他の落研創設者の尼子・沖井・大塚・浅海は、同級生で学生 No が近くて顔見知りの中でした。学校といえば、皆、登校はするのですが代返と出席カードを提出して教室の後ろから抜け出していました。ただ一人大塚だけは、真面目に学校へ行っていた姿を思い出します。但し、私もオマリー先生の英語の講義だけは出席していました。名前のおりに楽しく狂った楽狂師匠は、学業はそっちのけで落研活動に邁進してしまっただけです。だからこそ 40 年経過した今も奇跡的に落研が存在しているのかもしれない。

2. 何事にも動じない心

昭和 48 年(1973)下関市立大学 4 年時の就職活動では、神戸の企業を受けましたが空の色がうす暗くて(光化学スモッグの時代)青い空と白い雲が鮮やかに見える故郷の宮崎で勤めたいと思ったですね。そして人のお金を数える銀行だけは、行きたくなかったです。そして昭和 49 年、最初の会社の宮崎県にあつたフェニックス国際観光(ホテル業、社員数は 700 名)に入社してからは、学生時代とは様子が一変、その年に発足した電算室に配属され、朝から夜の 12 時を越えるまでの勤務になりました。自分の描いた業務プログラムが思い通りに動かなくて、丸 2 日徹夜して仕上げたこともありました。そこは見上げた根性だったと自分でも思っています。思えば 1 年 365 日のうち、休んだ日が 10 日位でした。体重も 70 ㎏ 台から激減して 50 ㎏ 台になり、額から生汗、頬もげっそり、ズボンに握りこぶしが入るくらいのスカスカ、よう逃亡することなく頑張りましたわ。

その時の上司は、北朝鮮の金正日に見えてました。自分の意見を言えることもなく、黙々と耐えてました。それが変わったのは、27 歳ころかな、俺の人生、このままでいいのか、人がいった通りのお人形みたいなのでいいのかと思ひ、とあることで上司と大喧嘩をしました。もちろん理は私にありました。それから 1 週間位、上司と口を聞かなかったですね。でもこのことで自信ができました。会社の中で 1 番うるさい人とやりあつたので後は怖いものなしでした。いまでは、同窓会にも参加して思い出話で語れるようになりましたね。この経験で何事にも動じない度胸がついたんだと思います。

3. プロジェクト X 地方版

時は流れ流れて、平成 6 年 10 月(1994 年)リゾート法第 1 号のシーガイアオープンの時(40 歳頃)は、ホテルのフロント係からまた、電算担当に推挙されました。グランドオープンの当日は、メチャクチャな状態でした。チェックイン、チェックアウトに 1 時間も要していません。請求書がゴミ箱に捨ててあるのを見ました。1 週間立っても混沌とした状態でした。その時、IBM(IT 業者)の人から言われました。この状態を解決するのは、貴方しかいないって。でも私は、すぐには動きませんでした。フロント部外者の自分が入っていくのは筋が違ふと思っていたんです。その後、ほとんどのフロント女性社員が寮にも帰れない状態を見かねて、私は動きました。プロジェクト X の地上の星みたいに。まずフロントの現場長にかけあつて支援に入りました。ホテルに泊り込み状態で仮眠が 3 時間程度かな、昼間に自宅に帰りひと風呂浴びて、また、ホテルに戻る日々の繰り返しでした。残業代な

しで、朝から晩まで勤務してて、フロントの女性からいつ寝ているのですかとも言われてました。それから、昼 12 時と夜 12 時にフロント勤務者を 2 名ずつ呼んで話をしました。それも女性社員だけ、男は、その壁を自分で乗り越えろという主義でした。その時の皆の気持ちを言って、これを乗り越えるのは 1 つしかないお客様をすべて自分の家族だと思えと。3 ヶ月たったら空気みたいになんでもない状態になるって。また、経理本部にかけあって、このオープンでフロントでの現金過不足が当然発生するので、1 日 1000 円までの過不足は黙認してほしいと依頼し、営業本部には、夕方、仕事終わりに現状を理解するために現場に顔をだしてほしいと依頼しました。結果、営業の人は、大混雑するなかで旅行会社の添乗員対応をしてもらいました。

それから 3 ヶ月したらフロント女性職員の笑顔を見ました。ああこれで終わったなと思いました。みんなの涙が笑顔に変わって本当に嬉しかったですね。

4. 困ったときの神頼み

また、電算室のマシンのトラブルが立て続けに 3 回ほど短期間に集中して発生しました。20 年に 1 度発生するかしないかのものもありました。そこで、私は電算室に神棚を飾りました。人智を超えたものには、神頼みしかないという思いから。そして地区の神社にもお参りしました。その後は、安定稼働になったことを覚えています。気持ちの問題ですが神頼みは有効です。

5. 仕事と遊びは振り子の関係

その後、電算室から、な、NAN ということでしょう人事部へ異動になりました。自分では、俺がなんで人事やねん・・・○□※▽???・・・と思いました。おそらく、当時の専務取締役人事担当にもホテルオープン時のフロントの職場状態を見に来てほしいとかけあって見に来てもらっていたので、そこら当たりなのかな。人事部へ呼ばれたのも。でも人事部へ着任しても直属上司からは何もさせてもらえませんでした。俺は、望まれてはいないのでは思っていました。そしたら半年後、その上司が異動になりました。

当時、社員数は 1200 名で人事部の現場長(部長)となつた私は、子亀の背中に親ガメがのっている状態ですが、自分のいままでの経験で判断するので、皆さんはこれまで通り、存分にやってくださいと言いました。とにかく、すぐすぐ解決できなくても、話だけは聞くという姿勢でした。この頃は、余裕もあり、アフター 5 の遊びは、麻雀ばかりしてましたね。そしてたまに、1 泊 2 日の麻雀+ゴルフ旅行をしてました。勝敗は、一人勝ちか一人負けのどちらかでした。一人勝ちの時は、笑いが止まりませんでした。仕事の幅を拡げるためには、よく遊べだと思えます。仕事と遊びは振り子の関係に似ています。

6. 肚をくくる

人事部でやった主たる仕事といえば、業績悪化の中で、賞与カット、給与カットとどちらかという後向きな仕事ばかりでした。しまいには、40 歳以上のリストラで 3 人中 2 人をノミネートするような仕事もありました。これを実施したら、そのあとは、自分もこの会社には居れないと覚悟していました。その矢先、管理銀行の人事異動発令の内部書類を見

て退職を決めました。ちょうど50歳になるころでした。その時は、次にどこへ行くあてもなく、とにかくフェニックス国際観光での自分の役割(2001年1月退職)は終わったと思いました。

このあとは、昨年、焼酎販売数量日本一になった宮崎県都城市に本社のある黒霧島でお馴染みの霧島酒造に2001年2月(平成13年)から総務人事でお世話になり、定年後の今も嘱託で総務人事に在籍しています。

7. テーマソングの人生劇場

人生では自分に乗り越えられない試練は、やってきません。

最後に、これから自分の人生を築いていく皆様方に、村田英雄の歌う人生劇場を送ります。

♪やるとおもえばどこまでやるさ
♪それが男の魂じゃないか
♪義理がすたればこの世は闇よ
♪なまじとめるな夜の雨

落研を取り巻く人々 その1

旧竹内マンションズ(楽狂師匠の出身部屋)の住人、トトロこと(S49卒・有田 格)

【編集後記】

おかげさまで稚拙な文章で綴った「かわら版」も遅滞なく年二回の発行を続けてきた。勿論一人では何もできないし、唯々「寄稿」していただけるOB・OGの「まごころ」にすぎり、私自身が病み付き手足が不自由になるまで「一所懸命」するしかないと思っている。

そんな中で確か第4回「かわら版」を発行し、同窓会の御好意でHPに掲載されて数日立った頃、どこでお聞きになったのか調べたのか知れないが「市大OBの者ですが、毎回、かわら版を楽しみに読ませていただいております。これからも頑張ってください!」という激賞のお電話を市大OBから頂いた。実にありがたかった!特に名前はおっしゃらなかったが、「暇にまかせて発行しているんだろう・・・」と考えている現在の私とは異質な、よく明治生まれの祖母が子ども時代に言っていた「あんたのしていることをお天とう様はみているよ!」を思い出した。そして、僅かではあるが全うな人が世の中にはいるということ「かわら版」の発行は私に教えてくれた。

(編集長)